

(仮称) 北仲通北地区 B-1 地区新築工事
環境影響評価準備書 検討事項一覧

この資料は本件に関して、審査会から横浜市に提出される答申の内容を検討するための資料です。これまでの調査審議の内容を確認し、下表の項目・検討事項・内容に基づき答申案を作成します。

■事業計画について

項目	検討事項	内容
緑化計画	緑化計画	屋上及び敷地北側の緑地は、日照等の状況や管理手法を踏まえて計画を検討すること。また、広場と北仲通北第二公園との一体的な利用がしやすいような設えを、現在の利用状況も踏まえて検討すること。 (指摘事項：B-2～B-4)

■環境影響評価項目について

【工事中】

評価項目	検討事項	内容
温室効果ガス		
廃棄物・建設発生土	排出抑制	混合廃棄物等の排出抑制について、設定した数値目標を評価書に記載し、その達成に向けて努めること。また、数値目標を設定できない廃棄物についても、環境の保全のための措置を徹底し、排出量の一層の抑制に努めること。 (指摘事項：6-2～6-5)
大気質		
土壌	土壌汚染対策	既存資料により、土壌汚染が明らかになっているため、施工計画に応じた詳細な対策を、評価書に記載すること。 (指摘事項：9-2、9-4、9-6、9-9、9-10)
騒音		
振動		
地盤		
地域社会		対象事業実施区域周辺に工事車両を待機させない計画としていることから、その検証のため、事後調査の項目に、路上の待機車両の台数の調査を加えること。 (指摘事項：19-1)

【供用後】

評価項目	検討事項	内容
温室効果ガス		
生物多様性		
廃棄物・ 建設発生土		
大気質		
騒音	予測条件	予測に見込まれていた防音パネルの設置位置及び防音効果等を、予測条件として評価書に記載すること。また、地上 31m における予測結果の根拠についても、評価書に記載すること。 (指摘事項：10-1、10-5)
振動		
電波障害		
日影		
風害		
安全（浸水）		
地域社会		通学路等への影響も確認していることが分かるように、歩行者交通量調査地点の選定理由を、評価書に記載すること。 (指摘事項：19-4)
景観		